

## 活動概要

貢献しているSDGs目標 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 11, 13, 17

- 北九州市は、公害克服の経験から得た「市民力」や、ものづくりのまちとして培った「技術力」を活かし、課題先進都市として、様々な取組を実施。これらの取組は、長年にわたる国際協力や低炭素社会の実現など、世界が目指すSDGsを先取りするもの。
  - ① 市民を中心とした持続可能な開発のための教育(ESD)や、市民活動の推進
  - ② 次世代エネルギーの拠点化(低炭素で安定したエネルギーネットワークの構築)
  - ③ 環境国際協力や環境国際ビジネスの推進(世界への貢献)

## SDGs実施指針における実施原則(本アワード評価基準)

**普遍性:** 公害克服の経験は他の自治体へのロールモデルになり、その経験や技術は国際的目標への貢献に資する。

**包摂性:** 高齢者や女性を含む「市民が自発的に動く」の理念に則った仕組みを採用し、多様性の確保に努めており、同市の女性委員参画率は政令市トップクラス。

**参画型:** 復興支援を積極的に実施。また、多様なアクターが中心となって活動をし、行政は側面支援を行っている。

**統合性:** 例として「環境国際ビジネス」は、同市における経済活性化、国際社会における環境保全という異なる課題に寄与。

**透明性と説明責任:** 自主的な取組評価のほか、情報公開により外部から評価を受ける機会を確保。それら評価を施策に反映するPCDAサイクルを実施。

